

令和 7 年 6 月 10 日

長野県知事 様

## 令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

|                                  |                                |                   |
|----------------------------------|--------------------------------|-------------------|
| 協定期間                             | 令和 7 年度                        |                   |
| 会 社 名                            | 丸山硝子株式会社                       |                   |
| 住 所                              | 〒399-8101<br>長野県安曇野市三郷明盛855番地7 |                   |
| 代 表 者 名                          | 代表取締役 丸山 隆則                    |                   |
| 業 種                              | 製造業 ・ 建設業                      |                   |
| 処 理 施 設<br>所 在 地<br>(処理施設を有する場合) | 施設名                            | 所 在 地             |
|                                  |                                |                   |
| 担 当 部 署                          | 総務部                            |                   |
| 担 当 者 名                          | 丸山晴美                           |                   |
| 連 絡 先                            | T E L                          | 0263-77-5640      |
|                                  | F A X                          | 0263-77-5661      |
|                                  | 電子メールアドレス                      | haru575@gmail.com |
| ホームページアドレス                       | http://www.maruyama-gr.jp/     |                   |

## 1 産業廃棄物 3 R 実践方針

・当社の建設工事により発生する産業廃棄物の排出を抑制し、また、廃棄物が再生利用等リサイクルされるよう、次の実践方針をもって取り組みます。

- ① 徹底した分別により、「廃棄物の排出」を「原材料等の再生利用」にしていします。
- ② 従業員教育等により、関係者のリサイクルへの意識を高めます。
- ③ リサイクルへの取り組みを、可能な範囲で情報公開します。

## 2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

|                                    | 令和 7 年度目標値    | 令和 6 年度実績値    | 令和 5 年度実績値    | 令和 4 年度実績値    |
|------------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 総排出量の推移<br>(t・kg・ $\text{m}^3$ )   | 464.1         | 227.9         | 34.9          | 426.8         |
| リサイクル量の推移<br>(t・kg・ $\text{m}^3$ ) | 350.0         | 120.7         | 6.3           | 342.6         |
| 売上高の推移<br>(円)                      | 2,242,395,812 | 1,392,395,812 | 1,407,591,193 | 1,500,095,844 |

### 3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

- ・年1回以上、社員、現場担当者を対象に産業廃棄物の分別や適正処理3Rの基本的な考え方についての研修を実施して社員一人一人の意識向上と実践力の強化を図る。
- ・社員研修を通じて環境配慮型製品の知識を深め、リサイクル率の高い製品の活用を検討し案件ごとに提案する。
- ・全年度に引き続き施工前の正確な実測、採寸を徹底し、ガラス・サッシの発注やカットのミスによる端材や廃材の抑制に努める。
- ・養生材、梱包材等は可能な限り再使用し、使い捨て資材の削減を目指す。
- ・令和7年度は元請として改修工事を予定しているため、アスコンがらやガラスくず、建設混合廃棄物、木くずの廃棄が多くなることが予想されます。分別を徹底し、できるだけリサイクル可能な資源を増やように努める。

下の観点も参考としていただいて構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境ISO14001、エコアクション21等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

### 4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

| 製品（材料）種別 | 当年度目標値       | 過年度実績値       |              |              |
|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|          | 令和7年度<br>目標値 | 令和6年度<br>実績値 | 令和5年度<br>実績値 | 令和4年度<br>実績値 |
| アルミサッシ   | 26%          | 21%          | 24%          | 26%          |
| ガラス      | 14%          | 13%          | 13%          | 12%          |
|          |              |              |              |              |
|          |              |              |              |              |
| 全 体      | 9 %          | 14%          | 15%          | 15%          |